

図書館だより

12月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

○印 休館日
月曜日・祝日(23日)・月末館内整理日(25日)
年末年始休館 12月28日～1月5日

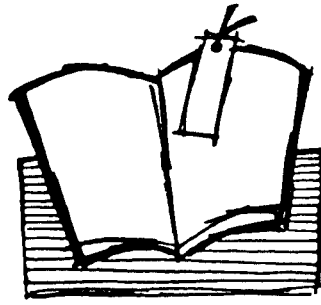
冬が来て、草も木も静かに枯れ、葉をすべて落としつくした樹木は飾りのなにもないそのものの雄渾な存在となって立っているが、よくみると、樹肌は自己のありかを示すかのように光を帯びている。

加藤楸邨(「寒雷」所収)

今月の新刊図書案内

♥ 一般図書

家康公と全国の東照宮 高藤晴俊
ヘレン・ケラー光の中へ
ヘレン・ケラー
三角縁神獣鏡綜鑑 樋口隆康
狐狸庵歴史の夜話 遠藤周作
琉球の英傑たち 大城立裕
美智子さまと皇族たち 河原敏明
紀子さまの育児日記 高清水有子
白神の四季 根深 誠
アジアが危ない 前田哲男
不思議の国の特派員D・パワーズ
女性の権利の歴史 辻村みよ子



自分の事は棚に上げて 吉田拓郎
英語の発想、日本語の発想 外山滋比古
布・ひと・出逢い 植田いつ子
岩波講座 宗教と科学1 赤川次郎
壁の花のバラード 内海隆一郎
風の渡る町 佐藤愛子
神さまのお恵み 高橋 治
春籠 上・下 高橋 治

愛という名の支配 田嶋陽子
もうすぐ一年生、学力はどこまで必要か 岸本裕史
看護に役立つ手話の辞典 林優子
地下水の世界 榎根 勇
タバコやめまますか人間やめまますか 広島県医師会
ナショナル・トラストの誕生
グレアム・マーフィ
ワインを気軽に楽しむ 講談社
定本 正月料理 柳原一成ほか
勘九郎ひとりがり 中村勘九郎

♥ 児童図書

情報図鑑 ちよっと変じゃない? やってみんちゃい 宇宙汚染 ひとつなのぞときあそび 消えた夜を追って おばあちゃんの大きな手 王さまなくした時間 おじいさんのすべり台 パパがワニになった日 森に消える道 おほしさまかいて! ぼく、どうしよう?? 14ひきのあきまつり ゆかいなゆうびんやさんのクリスマス マス 外 六十二冊

そこに僕はいた 辻 仁成
あの過ぎ去った日々 木下順二
おかあさん疲れたよ 田辺聖子
伊良湖岬の殺人 山村美沙
四季・布由子 上・下 五木寛之
幻想と死の信越本線 西村京太郎
流転の海 1 宮本 輝
悪党の窩 北方謙三
伊藤博文と安重根 佐木隆三
晩秋のシカゴミシガン大通りから ぼブ・グリーン
スカレット A・リプリー
鳳仙花のうた 金 在南
帰還 ディック・フランシス 外 一六九冊

子どもの心シリーズ(42)

思春期

学校ぎらい (その2)



学校ぎらいの子は心の中にどこかひ弱いところがあります。自律的に生きていく力が育っていないように見えるのです。ですから自律的に生きていくことができるように、まわりの人は手助けをして欲しいのです。

その手助けの第一は、まず自主性を育てる事です。自主性とは、自分以外の人の助けなしで、または支配を受けないで、自分の力で物事をしていく事で、独立し、ひとり立ちすることです。その自主性を育てる方法は、すべてを子どもに任せる事です。口出しをしたり、手を貸したりしないことが大切です。母親が子どものためにしてやれることは食事と洗濯くらいです。それも母親がつくったものを子どもが食べなければそのままにしておくことです。洗濯物を出さなければ出さなくても良いのです。やはりそのままにしておいて

世話をやかないことです。そのようにしておくと不精な生活になり、手の付けられないような状態になります。それでも親は手を貸さない事が大切です。この状態が長く続くと、これではいけないと気がつくようになります。そして午前二時、三時まで起きていて午前中寝ていた子が、朝も早く起きて、夜も早く休むようになります。そして自分で食事を作ったり、掃除をしたりするようにもなるのです。

このようになるには長い時間がかかるのが普通ですが、短い間に自主性が育つ子どももいます。つまり学校ぎらいが治るのも個人差があるという事です。要は親が自主性が育つまで待っていられるかどうかという事です。多くの親は待っていられて、いらいらし叱ったり、お説教したりします。自分も学校に行きたいのに行けなくて苦しんでいるのですから、叱ったり、お説教したりしても効果がないだけでなく、家全体が不安定になります。この状況が長く続くと家庭内暴力も始まるのです。

教育相談室
☎(43) 1111 内線216